

令和4年(2022年)8月1日

中日本入会林野研究会
個人会員 各位

中日本入会林野研究会
代表委員 青嶋 敏

第42回中日本入会林野研究会大会の開催について

平素は当研究会の活動に格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当研究会は昭和54年に発足して以降、入会林野及び入会林野整備後における経営・管理等に関する理論的研究を進めることを目的として研究活動を行っているところです。

このたび、第42回研究会大会を京都大学で開催する運びとなりました。また、昨今の情勢を考慮し、オンライン(Zoom)併用で行います。皆様、奮ってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 開催日時 令和4年9月2日(金) 13:00~16:00
- 2 開催場所 京都大学旧演習林事務室(会場を変更する場合があります)
オンライン併用(Zoom接続情報は、大会前日に送付します)
- 3 参加申込
 - (1) 手続き 参加申込書を研究会事務局あてメールもしくはFAX送信して下さい。
Googleフォームによる申込方法もあります。
 - (2) 申込期限 令和4年8月19日(金)
 - (3) 参加費 会員は無料(非会員は有料)
- 4 開催要領 別添のとおり

研究会事務局

606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科森林科学専攻
中日本入会林野研究会事務局 松下幸司
E-mail: matsushita.koji.3u@kyoto-u.ac.jp
FAX: 075-753-6300

第 42 回中日本入会林野研究会大会開催要領

1 目 的

入会林野及び入会林野整備後における経営・管理等に関する理論的実践的研究を進めることを目的として大会を開催する。

2 主 催

第 42 回中日本入会林野研究会大会実行委員会
(構成員：中日本入会林野研究会企画委員)

3 会 員

中日本地方(山梨県、静岡県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県)の大学、府県、市町村、森林組合、生産森林組合、入会集団、入会林野の研究者、実務者等

4 開催期日

令和 4 年 9 月 2 日 (金)

5 開催場所

京都大学旧演習林事務室(会場を変更する場合があります)
Webによるオンライン併用(Zoom)

6 日 程

13:00～13:10	受付
13:10	開会
13:10～13:15	挨拶(代表委員)
13:15～13:25	祝辞(林野庁)
13:25～13:30	休憩
13:30～14:30	基調報告 鈴木春彦氏(豊田市) 「市町村森林行政の現状と施策過程に関する研究」
14:30～14:35	コメント 1 高村学人氏(立命館大学)
14:35～14:40	コメント 2 松下幸司氏(京都大学)
14:40～14:50	休憩
14:50～15:50	質疑
15:50～16:00	総会
16:00	閉会

発表要旨

豊田市、博士（農学） 鈴木 春彦

市町村森林行政の現状と施策過程に関する研究

多様化する森林への社会の期待に応え、持続可能な地域森林管理を実現していくためには、市町村森林行政の役割が重要になってくる。戦後の市町村林政は国政策の展開に大きな影響を受けており、特に 2000 年前後以降は地方分権化が進行する中で多様な役割が市町村に求められるようになってきた。

これに対して戦後の市町村林政研究は、国家政策に対する市町村の対応に関する分析と、一部の先進的な自治体を事例にその施策内容の特徴や展開の分析を主に行ってきた。こうした研究の結果、市町村の林務体制の脆弱性や政策展開の限界が明らかにされたほか、一部の市町村では施策の多様化が見られることなどが指摘された。また、1990 年前後には都市部自治体を中心として自然環境保全に関わる主体的な政策展開が始まり、2000 年代には市町村が森林行政体制構築を行いつつ施策展開を進めるなど、市町村森林行政の主体性が高まっていることが指摘された。

しかし、市町村施策のプロセスや、それを担う林務体制・人材に関する研究はほとんどなく、全国市町村の森林行政の状況把握も 2014 年以降は行われていない。また、2010 年代の市町村の主体性発揮の様態についての検討は行われていない。

そこで、本発表では、近年の全国市町村の森林行政の状況と 2010 年代の市町村森林施策について、体制や人材を中心に分析し、今後の市町村森林行政の発展に向けた方向性を検討することとし、次のように目的を設定した。

第 1 に、市町村の現段階の林務体制と政策展開について、市町村を対象としたアンケート調査によって検討する。

第 2 に、市町村の独自施策プロセスを把握し、プロセスの運用体制を明らかにする。

第 3 に、市町村の独自施策を充実させるための手法・条件を明らかにする。

第 2. 第 3 の目的を達成するにあたって、自治体の規模や施策分野の異なる 5 市町村 6 施策を事例にし、特に地域人材の役割や相互関係に注目して分析することにする。

以上を踏まえて、現在の市町村森林行政の林務体制や政策展開について評価を行うことで、入会林野の後身ともいえる公有林、財産区等の今後の議論の話題提供とする。

京都大学の会場について

(交通手段)

JR 京都駅下車、京都市バス「17 系統」で「京大農学部前」バス停で下車して下さい。

別紙の京都大学北部構内地図では、左下にバス停マークがあります。

京都駅からバスに乗りますと、建物番号 2 番の下側、「南門」という文字の右側のバス停となります。

(大会の会場)

会場の旧演習林事務室は、15 番の建物です。

(注意事項)

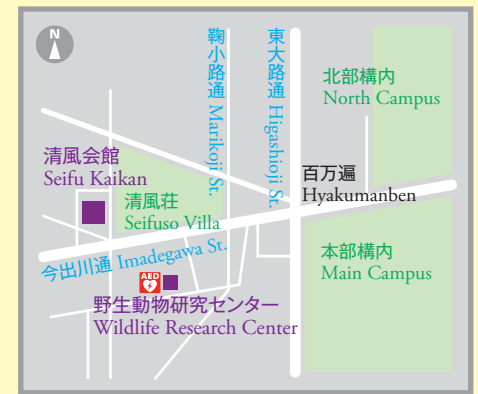
参加者数によっては、会場を農学部総合館（8 番の建物）に変更する場合があります。会場を変更する場合は、会場参加者にメールにて連絡します。

また、新型コロナウイルスの動向次第では、京都大会場の参加者を講演者等に限定する場合があります。この場合も、会場参加者にメールにて連絡します。

北部構内 North Campus



近隣施設



- 1 農学部正門
Main Gate
- 2 理学研究科1号館
Graduate School of Science Bldg. No. 1
- 3 理学研究科2号館
Graduate School of Science Bldg. No. 2
- 4 理学研究科6号館
Graduate School of Science Bldg. No. 6
- 5 理学研究科3号館
Graduate School of Science Bldg. No. 3
- 6 理学部植物園
Botanical Garden
- 7 数理解析研究所
Research Institute for Mathematical Sciences
- 8 農学部総合館
Faculty of Agriculture Main Bldg.
フィールド科学教育研究センター
Field Science Education and Research Center
- 9 理学研究科4号館
Graduate School of Science Bldg. No. 4
- 10 理学研究科セミナーハウス
Science Seminar House
- 11 基礎物理学研究所 (湯川記念館)
Yukawa Institute for Theoretical Physics (Yukawa Hall)
- 12 基礎物理学研究所 (研究棟)
Yukawa Institute for Theoretical Physics (Research Building)
- 13 北部総合教育研究棟
Maskawa Building for Education and Research
- 14 フィールド科学教育研究センター連携研究推進棟
Field Science Education and Research Center Collaborative Research Promotion House

- 15 旧演習林事務室
Former Head Office of Forest Research Station
- 16 農学・生命科学研究棟
Graduate School of Agriculture
Graduate School of Biostudies
- 17 プラズマ波動実験棟
Plasma Wave Experiment Bldg.
- 18 農学研究科2号館
Graduate School of Agriculture Bldg. No. 2
- 19 放射性同位元素総合センター (分館)
Radioisotope Research Center (Annex)
- 20 環境安全保健機構 低温物質管理部門
Division of Low Temperature and Materials Sciences
- 21 理学研究科5号館
Graduate School of Science Bldg. No. 5
- 22 理学研究科5号館東棟
Graduate School of Science Bldg. No. 5 East Wing
- 23 理学研究科5号館北棟
Graduate School of Science Bldg. No. 5 North Wing
- 24 グラウンド
Sports Ground
- 25 附属農場
Experimental Farm
- 26 東アジア人文情報学研究センター (人文科学研究所)
Center for Informatics in East Asian Studies (CIEAS) (Institute for Research in Humanities)
- 27 北白川試験地
Kitashirakawa Experimental Station

大会参加申し込みの方法について

今回の第 42 回研究会大会は、京都大学にて開催しますが、オンライン（Zoom）でも参加することができます。高速インターネット接続のあるスピーカーまたはイヤホン付きのコンピュータまたはスマホがあれば、Zoom のアプリケーションをダウンロードすることで、どこからでもご参加が可能です。

研究会大会の参加申し込み方法は、以下に示す 2 つの方法の何れかにてお願い致します。

1. 「参加申込書」による申し込み

従来通り、参加申込書を事務局あてに送って下さい（メールまたはファックス）。会場及びオンラインによる開催のため、書式が例年と若干異なっております。

会場参加者については資料準備のため、オンライン参加者については Zoom の接続情報の事前送付のため、参加方法を必ずご記入下さい。オンライン参加者につきましては、メールアドレスを必ずご記入下さい。

2. Google フォームによる申し込み

以下のサイトに接続してお申し込み下さい。

<https://forms.gle/Vgd1manr4ZjUPCaZ6>

第42回中日本入会林野研究会大会 参加申込書（個人用）

所属・役職	お 名 前	メ ー ル ア ド レ ス
	1. 会員 2. 非会員	
大会参加方法	T E L	
1. 京都大学	T E L（携帯電話）	
2. オンライン（Zoom）	F A X	

○申込期限：令和4年8月19日（金）

○オンライン参加の場合、メールアドレスを必ずご記入下さい。

○メールアドレスは、今後の事務連絡等に使用します。

○複数の参加者がいる場合は、参加申込書を人数分ご用意下さい。

<申込・お問い合わせ先>

〒606-8502

京都市左京区北白川追分町

京都大学農学研究科森林科学専攻

中日本入会林野研究会事務局 松下幸司

FAX：075-753-6300

E-mail: matsushita.koji.3u@kyoto-u.ac.jp

大会参加費について

(会員の場合)

中日本入会林野研究会の会員の場合、大会参加費は無料です。

(非会員の場合)

非会員の場合、大会参加費は 500 円です。支払いの方法は、以下の 2 通りです。

①京都大学の会場にて当日支払う。

②Peatix にて 8 月 31 日（水）までに支払う。

<https://peatix.com/event/3285013/view?k=bb5b0d422af47f677dba1da81e2f030d3d39da06>

非会員でオンライン参加の場合は、Peatix でのお支払いをお願いします。

2022 年度研究発表会の開催について

中日本入会林野研究会の研究会大会では、これまで基調報告と事例報告を行ってきました。本年度につきましては、第 42 回研究会大会の閉会後に、以下の通り自由論題による「2022 年度研究発表会」を開催することとしました。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時：令和 4 年 9 月 2 日（金）16:30 頃開始（第 42 回研究会大会閉会后）

会場：京都大学（会場未定）、オンライン（Zoom）を使用しません

参加費：無料（会員に限る）

- 発表者・参加者は、原則として会員に限ります。非会員の場合は、入会する必要があります。
- 通常の研究発表に加え、例えば卒業論文・修士論文等の研究構想・中間報告、公表済み論文等の内容紹介、入会林野・生産森林組合等の事例紹介なども可能とします。
- 発表時間：原則として、①10 分発表+5 分質疑、②15 分発表+10 分質疑、のいずれかとします。これ以外の発表・質疑時間を希望する場合は、事務局までお知らせ下さい。
- 発表方法：配布資料を使って発表する方法のみです。プロジェクターの用意はありません。
- 発表申込：8 月 22 日（月）午前 7 時必着で、研究会事務局までメールで送って下さい。
- 配布資料：9 月 1 日（木）午前 7 時必着で、研究会事務局までメールで送って下さい。
- 研究会事務局：matsushita.koji.3u@kyoto-u.ac.jp

（発表申込について）

- 以下の内容を記載したメールを事務局まで送って下さい。

タイトル（仮でも可）

発表者氏名・所属（連名の場合、発表者に○印）

要旨（100～200 字程度）

発表・質疑時間（①10 分発表+5 分質疑、②15 分発表+10 分質疑、③その他）

（配布資料について）

- A4 版とし、上下左右の余白は 30mm とします。PDF ファイルで送って下さい。

- ページ数は、2 ページ以上とします。

- 事務局にてページ番号を通しで付けますので、ページ番号を付けないで下さい。

- 1 ページ目の冒頭に、以下の内容を記載して下さい。

タイトル

発表者氏名・所属（連名の場合、発表者に○印）、連絡先メール（発表者のみ）

要旨（200～500 字程度）

キーワード（3～10 個程度）